

令和5年度 御室小学校 学校方針

令和5年4月1日

1. 学校経営方針

(1) 楽しい学校

児童も教職員も自らの成長を感じ、仲間と喜びを共有できる学校

(2) 学力・体力向上

学力向上(楽しい授業:自らの成長を感じ、仲間と喜びを共有できる授業実践)

体力向上(楽しく体を動かすためのハード・ソフトの充実)

(3) 働き方改革

「学校における働き方改革の目的は、教師のこれまでの働き方を見直し、自らの授業を磨くとともに、日々に生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、子供たちに対して効果的な教育活動を行うことができるようになること。」(中教審答申 H31.1.25)

御室校としての働き方改革は、「働き方」を一人一人の教職員の「キャリア育成」と捉えた改革である。

個々の児童の育成は、学級担任の個業の中だけで行われてきたかのような「これまでの働き方」から、学年で、そして、学校総体での取組であることを再確認し、その方策と実践を意図的、計画的に積み重ねる1年として、今年度を捉える。

2. 学校教育目標 「しなやかに がんばる 御室っ子」

(1)「しなやかに」(豊かな言語と相手意識)

「すべてを受け入れる柔らかさの中に、自分らしさ(芯)をしっかりと持っている」

・誰かを不快な思いにさせずに、正確なイメージを伝えることのできる語彙を豊富に持つ。

・自分と相手の考え方の違いを受け入れ、その上でどうすればよいかを判断する。

・周囲の人々とうまく付き合いながら、お互いのよいところを引き出し合うことができる。

(2)「がんばる」(根気と本気、励ましと寄り添い)

「自分の夢や目標に向かって頑張れる強さ」

・うまくいくと思えるからこそ今の努力が楽しめ、明日への活力となる。(寄り添いと励まし)

・学力の向上と体力向上を目指す。

自らの成長を感じ、仲間と喜びを共有できる授業実践(学力向上プロジェクトチーム)

体力向上に向けてのハード・ソフトの改善(体力向上プロジェクトチーム)

(3)「御室っ子」(誇りと感謝)

「御室」を大切に思い、地域に大切にされる子どもを育てる。

・生活科、総合的な学習の時間を中心に、地域の良さ(人・環境・歴史等)を知り、今の自分、将来の自分とのつながりを考え、誇りと感謝の気持ちを培うことを目標とする。

3. 目指す子ども像

- (1) がんばる子(学力向上・体力向上・心の力を高める)
- (2) やさしい子(思いやり・信頼関係・仲間集団)
- (3) げんきな子(健康管理・あいさつ・規範意識)

4. 目指す教職員像

- (1) 信頼
 - ・情報共有(困った時こそ、知恵を出し合い、力を合わせ乗り切る。)
 - ・高め合う集団(厳しいことが、簡単に言い合える職業集団、どの子にも注意できる教職員)
- (2) 責任感
 - ・任務の全う(職業人としての自立)
 - ・研修研鑽(教職の誇りと専門性の向上)
- (3) 智慧を絞る
 - ・授業のねらいを明確にした精選・充実
 - ・行事のねらいを明確にした精選・充実

5. 具体的な取組

(1) キャッチフレーズ

「コミュニケーション」 「リフレクション」 「コラボレーション」
(絆、つながり) (振り返り、前進) (協働、参画)

(2) 安全指導(児童は、自ら安全を意識し、安全な行動を学び、実践する。)

- ① 納食指導
 - ・除去食の徹底
 - ・返却指導
- ② 校内安全管理
 - ・危険の予見と迅速な対応
- ③ 避難訓練
 - ・「子どもの命を守り切る」 Hana モデルの実地訓練
 - ・「自分の命は自分が守る」
- ④ 児童の健康管理
 - ・保健室の活動支援

(3) 学力向上

研究部:授業力を核とした主体的な研究の充実

教科部:教科主任からの発信・交流の場としての充実

- ① 日頃の授業の充実(主体的・対話的で深い学び、GIGA 端末の活用)
- ② 教科主任からの発信:ジョイントプログラム、研究会テスト、全国学力学習状況調査の分析をもとに各学年の課題を明確にし、焦点を当てた取組を行う。
- ③ 道徳(心の学力)
- ④ 全校合唱(人と力を合わせる学力) 御室ソング(伝統の復活)

(4) 体力向上

- ① 外遊びの推奨、ソフトを含めた環境整備
- ② 体育の授業実践の充実

(5) あいさつの徹底

- ・まずは、校内で自然に挨拶ができる。
 - ・登下校時に自分から挨拶ができる。
 - ・お世話になっている方の名前を言ってあいさつをする。
 - ・「あいさつ」するだけではなく、お礼も言う。
- 水曜日は、外国語で挨拶

(6) 働き方改革

- ① 資料・情報の共有（作業ルーティーンの見直し）
 - ・校務支援システムC4th・Teamsの活用
 - ・職朝→終礼へ（朝の時間確保・連絡事項の徹底）
- ② 校務支援員の活用
- ③ マニュアル化の理解と促進
 - 時間外勤務の縮減
 - ・毎日19時セット（例外の日を除く）電話対応18時30分終了。

(7) 研究

- ① 研究を「主体的・対話的で深い学び」の実践とする。
研究委員会主体で研究を進める。
- ② 音楽研究の財産継承
 - ・全校合唱、オムロワールドの合唱指導
- ③ 全体的な学力向上への取り組み
 - ・GIGA 端末（ドリル等）の活用等、学力向上に向けて、学校全体で取り組む。
- ④ 学力向上プロジェクト
 - ・教科主任を中心にジョイントプログラム等の分析、考察と対策

(8) 生徒指導

- ① 「御室校のやくそく」の徹底（あいさつ、はきものをそろえる、右側歩行）
- ② 生徒指導体制の徹底

(9) 各種取組

- ①運動会・学習発表会
 - ・コロナ禍での経験を活かし、児童、保護者、教職員にとってベストミックスな内容を検討する
- ② 部活動
 - ・毎週月曜日
 - ・部活動の時間を15:45～16:45 17 時には下校終了。